

■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用

<まちなか乗合タクシー（チョイソコうちこ）>

①事業概要

内子町の市街地には生活に必要な機能が集まっていますが、タクシー以外の公共交通がないため、まちなかの回遊性および町民の生活利便性の向上を図ることを目的として「まちなか乗合タクシー（チョイソコうちこ）」を運行します。

まちなか乗合タクシーは、買い物や通院など町民の日常生活の移動に利用されているのみならず、鉄道駅との接続を担う重要なフィーダー交通としての役割も果たします。このため、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、財源の安定的な確保・維持を目指します。

②実施主体の概要

路線名	まちなか乗合タクシー（チョイソコうちこ）
運行エリア	内子地区 1～21 区・田中・護国・岡第 1・大岡・富中 五十崎地区 鳥越・上町・上村・中町・本町・新川町・下町・豊秋町・ 妙見町・平成・平野・東沖・天地・西沖・柿原・岡第 2・田ノ口
事業区分	自家用有償旅客運送（道路運送法第 78 条に基づく登録）
運行態様	予約制・乗合
実施主体	内子町（交通事業者へ委託）

③地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の必要性

内子町では、まちなか乗合タクシー以外にも、内子・五十崎・小田の 3 地域を結ぶ路線バスや、山間部の公共交通空白地域を広くカバーするデマンドバスを町営で運行しています。しかし、これらの運行に関わる費用は町の財政負担だけでは安定的な維持が難しい状況にあります。このため、新たに運行を開始するまちなか乗合タクシーについては、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、町民の生活交通手段および鉄道への接続手段を維持・確保する必要があります。

■補助対象事業に関する評価指標

補助対象事業である「まちなか乗合タクシー（チョイソコうちこ）」については、評価指標及び目標値を、以下の通り設定します。

なお、これらの指標による評価は毎年度実施するものとします。

指標	現状値（R7）	目標値（R11）	備考
年間利用者数	15,697 人	16,180 人	町営デマンドバスについては、将来的に共助型ライドシェアへ移行する可能性がある。このため、運行形態の変更があった場合には、目標値を適宜見直す。
町営路線バス	9,485 人	9,000 人	
町営デマンドバス(15 路線)	3,955 人	3,700 人	
町営デマンドバス(参川線・田渡線)	418 人※	400 人	
町営デマンドバス(街中周遊線)	41 人※	80 人	
共助型ライドシェア(立石線・上成線)	192 人※	200 人	
まちなか乗合タクシー 【補助対象】	1,606 人※	2,800 人	
運行収支率	6.9 %	9.5 %	町全体の公共交通の運行収支率
公共交通への公的資金投入額	71,567 千円	53,599 千円	町全体の公共交通への公的資金投入額

※町営デマンドバス(参川線・田渡線・街中周遊線)、共助型ライドシェア、まちなか乗合タクシーは R7.10 に運行を開始したため、現況値は R7.10～R8.3 の実績を年度換算した値としている。